

「世界の温泉首都・日本」温泉ツーリズム推進協議会 第2回温泉シンポジウム「加賀宣言」

2025年2月22日、全国のブロック長が石川県加賀市において、協議会発足後2回目となるシンポジウムを開催した。

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の開催年であるとともに、世界大戦の経験から100年、阪神淡路大震災から30年、能登半島地震から1年と、大きな節目の年である。これらの背景を念頭に、本シンポジウムでは、温泉を通じた世界との相互理解と協調、ならびに防災・減災に関する意見交換が行われた。

1. 世界協調への貢献のため、海外温泉地との交流を促進する

世界各地では温泉に関する様々な価値観や文化が育まれてきた。海外温泉地との交流を促進し互いの長を学ぶことで、温泉という共通の資源に関する普遍的な価値をSDGsの観点で抽出し、共に世界に発信する。また、これらの活動を継続し、世界中に温泉を通じた友情のネットワークを広げることを目指す。

2. 2025大阪・関西万博を契機に、温泉を楽しむブームを世界に巻き起こす

訪日外客の増加が見込まれ、「いのち」と「健康」がキーワードの一つとなっている2025万博は、温泉の魅力を発信する千載一遇のチャンスである。この機を捉えて新たに「泉活(SEN-KATSU)」という言葉を生み出し、「今こそ温泉に行こう!」と発信することで世界的な温泉ブームの創出に挑む。

3. 防災・減災の啓発に努める

温泉や美しい景観等の観光資源は、火山や地震、台風などの自然災害と表裏一体の関係にあることを再認識し、観光地における防災・減災の啓発活動を推進する。能登復興に対しては、協議会がかかわる万博催事やシンポジウム等で継続的に発信するなどの協力を行う。

以上、協議会の全国のブロック長及びスタッフは、より高い志を持って以下の活動に取り組むことに合意し、シンポジウムの成果として本宣言を発表する。

令和7年2月22日

「世界の温泉首都・日本」温泉ツーリズム推進協議会

北海道ブロック長 登別市長 小笠原 春一

東北ブロック長 仙北市長 田口 知明

北信越ブロック長 加賀市長 宮 元 陸

関東ブロック長 日光市長 粉川 昭一

東海ブロック長 熱海市長 齊 藤 栄

中国ブロック長 松江市長 上定 昭仁

四国ブロック長 松山市長 野志 克仁

九州ブロック長 別府市長 長野 恭紘

事務総長 溝 畑 宏